

令和3年度 岐阜関ヶ原古戦場記念館協議会（書面開催）議事要旨

■ 意見聴取期間：令和4年3月4日～令和4年3月18日

■ 書面により意見聴取等を行った委員

三輪会長、伊藤委員、稲本委員、笠谷委員、岸野委員、北村委員、松川委員

■ 各委員からの主な御意見は以下のとおり

1. 岐阜関ヶ原古戦場記念館協議会会長の選任について

全委員賛成のため三輪委員を会長とすることで議決。

2. 岐阜関ヶ原古戦場記念館令和3年度運営実績及び令和4年度予定について

○「古戦場」という広大なフィールド・ミュージアムとの一体的な取組みの中で、館の性格を出す必要性を感じる。その点では、スタート時からの流れは評価できる。（三輪委員）

○市民共生型の運営に向けた展開、ボランティアの動向が分かるような、新しい発展の形を期待したい。（三輪委員）

○資料収集では、寄託など幅広く工夫してほしい。（三輪委員）

【回答】

現在、積極的に資料収集を推進する必要があるため、購入だけでなく、寄贈・寄託の受け入れを強化しているところです。地元有識者の方々の協力を得て、個人・団体が所蔵する資料の発掘調査を行い、寄贈・寄託に向けた交渉を進めて参ります。

○公開承認施設としての検討を継続されたい。（三輪委員）

【回答】

公開承認施設を目指して準備を進めており、令和4年秋には重要文化財の展示を予定しています。

○新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館を余儀なくされる中、企画展やイベント、講演会、ワークショップなどたくさんの企画を開催し、常に明るい話題を提供していた岐阜関ヶ原古戦場記念館はとても素晴らしい施設だと感じている。（稲本委員）

○令和4年度もコロナ禍による制限が課せられ、観光客層もなかなか戻ってこない渦中だと予想されるが、引き続き多くのイベントが開催され、話題であり続ける施設であることを願う。（稲本委員）

○子連れで記念館に行くのであれば、子供向けのイベントや講座のある期間中に訪館するのがベスト。夏休み期間だけでなく、春休みや冬休みにも親子連れの企画をさらに充実すると良い。(稲本委員)

【回答】

春休みには「記念館探検クイズラリー」を実施するほか、年間を通じて兜プロジェクトや関ヶ原組の演武など親子で楽しめるイベントを継続的に実施しています。今後、さらに、家紋や甲冑、古文書などをテーマに、親子連れで楽しめるワークショップなども充実させていきます。

○令和4年～5年まで大きな盛り上がりを見せるであろうNHK大河ドラマ「どうする家康」。関ヶ原では女性からの西軍人気が高いですが、引き続き東軍にもフューチャーするような企画、イベント、講座を実施し、大河ドラマと関ヶ原古戦場と一緒に盛り上がっていく2年間になってほしい。(稲本委員)

【回答】

大河ドラマ「どうする家康」については、番組の進捗状況を見極めながら、令和4年度半ばからパネル展示や講演会、関連甲冑展示などを通じて盛り上げを図るほか、令和5年夏～秋に徳川家康に注目した企画展を開催する予定です。いずれも、企画段階から関ヶ原町及び観光協会など関係者と連携して、関ヶ原古戦場一帯の盛り上げにつなげていきます。

○令和3年度の運営実績については、コロナ禍の悪条件の中でも一定の入館者を得たものの、開館直後の令和2年11月期には及ばなかった。(松川委員)

【回答】

ご指摘のとおり、月間来館者数で比較すると、令和2年11月期が過去最高です。ただ、令和4年5月のゴールデンウィーク期間中は、前年同時期と比較すると、1.6倍超という大幅増加であり、今後も人流が活発化すると予想しています。引き続き、感染対策を徹底しながら、魅力的な企画を通じて、多くの来館者を迎えていきたいと考えています。

○企画展示の中では「石田三成と…」 「竹中半兵衛と…」のように特定の人物に焦点を当てた企画が分かりやすく集客しているように思う。(松川委員)

【回答】

全国の武将が参戦し、戦いの舞台がそのまま残る関ヶ原古戦場の特色を活かし、特にストーリー性の高い武将をテーマとした企画展に力を入れていく予定です。令和4年秋季企画展は合戦のハイライトのひとつ「島津の退き口」で有名な島津義弘を取り上げる予定です。

○教育普及事業では、岐南工業高校の生徒による兜プロジェクトが興味深いですが、参加者数が不明。(松川委員)

【回答】

これまでに、兜プロジェクトは6回開催し、計153名にご参加いただきました。それぞれの参加者数は下記のとおりです。

- ①令和3年3月13日(土) 徳川家康：25名(子ども12名、大人13名)
- ②令和3年4月24日(土) 井伊直政：15名(子ども7名、大人8名)
- ③令和3年7月10日(土) 宇喜多秀家：33名(子ども15名、大人18名)
- ④令和3年8月14日(土) 島左近：27名(子ども13名、大人14名)
- ⑤令和3年10月23日(土) 小早川秀秋：28名(子ども14名、大人14名)
- ⑥令和4年3月27日(日) 島津義弘：25名(子ども11名、大人14名)

○令和4年度予定については、秋の企画展「島津家の関ヶ原」が、岐阜県と鹿児島県の姉妹県としての縁からも期待できる。(松川委員)

○新型コロナウイルス感染症の収束を願うばかりだが、リピーターを増やしコアなファンを獲得するための、サポーター組織(すでにあるかもしれませんが)も必要かと考える。(松川委員)

【回答】

開館当初より、展望室や戦国体験コーナーにおいて来館者案内を行うなど、運営支援を行うサポーターを組織しています。今年度からは、ワークショップ等の企画・運営にも携わっていただき、当記念館のコアなファンとして積極的に活動していただけるよう、サポーターを対象とした研修会や勉強会を計画しています。